

基本情報

科目名	教育原理
時間割コード	0234300801
ナンバリングコード	S 230733-L-17
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	定方 太希
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名	
定方 太希	

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育の基本的概念、教育の歴史に関する基礎的知識、教育に関する様々な思想を理解し、教育を成り立たせる諸要因、過去から現代に至るまでの多様な教育の理念について説明できるようになる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業には参加的態度で臨むこと。参考文献を一読してから、授業に臨むことが望ましい。</li> <li>・ その他、授業外でも教育にかかわる情報をキャッチする鋭敏なアンテナを持ち合わせて欲しい。</li> <li>・ 授業中に調べ学習やディスカッションなどを通して課題に取り組み、発表を求められることがあるため、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなどの情報機器を持参すること。</li> <li>・ 授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合がある。</li> <li>・ 授業者が担当する教職課程科目や共通科目と内容的に一部重なる部分もあるため、教職課程の履修者はそれらの科目の内容を復習して授業に臨むことが望ましい。</li> <li>・ 定期試験でペーパーテストを実施する場合は原則、持込不可とする。</li> </ul>
評価方法	授業における提出物・発表（30%）、中間定期試験（30%）、学期末定期試験（40%）で評価する。
テキスト	特に指定しない。適宜資料を配布する。
参考文献	<p>勝山吉章編著『西洋の教育の歴史を知る：子どもと教師と学校をみつめて』あいり出版、2011年。          石村華代・軽部勝一郎編著『教育の歴史と思想』ミネルヴァ書房、2013年。          藤井千春編著『時代背景から読み解く西洋教育思想』ミネルヴァ書房、2016年。          苫野一徳『教育の力』講談社、2014年。          村井実『ペスタロッチとその時代』玉川大学、1986年。          押村他『ルソーとその時代』玉川大学、1987年。          小笠原道雄『フレーベルとその時代』玉川大学、1994年。          田浦武『デューイとその時代』玉川大学、1984年。          その他については適宜紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業内容に応じて、調べ学習、探究的な学び、ディスカッション、発表などを取り入れる。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 教育原理とは何か	事前学修：シラパスを熟読する。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
2	教育とは何か：人間の発達	事前学修：人間の発達の過程について、自己の経験を基に、教育とは何かについてイメージしておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	発達の理論：エリクソン	<p>前学修：エリクソンの発達理論に関して調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
4	教育の思想：ソクラテスとプラトン	<p>事前学修：プラトンの教育論について、参考文献を基にして調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
5	教育の思想：コメニウスとロック	<p>事前学修：コメニウスかロックの教育論のどちらか1つについて、参考文献を基にして調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
6	教育の思想：ルソーと子どもの発見	<p>事前学修：ルソーの教育論について、参考文献を基にして調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
7	教育の思想：ペスタロッチとフレール	<p>事前学修：ペスタロッチかフレールの教育論のどちらか1つについて、参考文献を基にして調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
8	定期試験	<p>事前学修：定期試験に向けて、これまでの授業内容を振り返っておく。（2時間）</p> <p>事後学修：定期試験の問題を振り返り、これまでの授業内容についての理解を深めておく。（2時間）</p>	
9	教育の思想：デューイと新教育運動	<p>事前学修：デューイの教育論について、参考文献を基にして調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
10	教育の歴史と制度：日本における近代学校教育の成立	<p>事前学修：明治時代の社会情勢について調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
11	教育の歴史と制度：日本における大正新教育の思想	<p>事前学修：大正時代の社会情勢について調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	
12	教育の歴史と制度：日本における戦後教育の展開	<p>事前学修：戦後日本の社会情勢について調べておく。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
13	教育の歴史と制度 : 現代の教育課題	事前学修: 現代の教育課題について調べておく。(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	
14	教育の思想 : オルタナティブ教育	事前学修: 海外のオルタナティブスクールを1つ選び、調べる。(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	
15	総括と補足、その後の展望	事前学修: これまでの授業資料に目を通して、授業内容についての理解を深めておく。(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	

基本情報

科目名	教職論
時間割コード	0234300901
ナンバリングコード	S 130733-L-01
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森江 一史
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
定方 太希、森江 一史

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。</li> <li>2 教員の身分と役割、義務と裁量権について理解し、説明することができる。</li> <li>3 最近の、教員を取り巻く状況や課題について理解し、説明することができる。</li> <li>4 教員に関わる教育制度、学校の組織構造などの現代的問題の理解を通して、求められる新しい教師像と専門性について考察することができる。</li> </ol>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムニバス形式で講義を行なう。</li> <li>・授業の計画・内容は受講者のニーズやオムニバス担当者の都合などに応じて一部変更する場合があります。</li> <li>・授業方法はオムニバス担当者で異なり、探究的な学び、調べ学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、発表などを取り入れることもある。</li> <li>・これらの活動には自分の考えを持って積極的に参加すること。</li> </ul>
評価方法	・オムニバス担当者毎のレポートの総合成績で評価する。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書は使用しない。</li> <li>・必要に応じて資料を配布する。</li> </ul>
参考文献	・参考書については適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	森江：小学校教諭、指導主事、学校管理職、教育センター所長及び教育行政管理職としての教職経験を活かして、児童生徒、教職員、保護者、地域社会に関する教育課題を取り上げながら授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	・授業内容に応じて、探究的な学び、調べ学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、発表などを取り入れる。

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職に関する現状と課題を中心に授業を行う。</li> <li>・授業の計画・内容は、オムニバス担当者の都合などに応じて一部変更する場合があります。</li> <li>・事前学修については、授業のテーマ（内容）についての下調べをしておく。</li> <li>・事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</li> </ul>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：教職の魅力とは（森江）	事前学修：これまで出会った教師について、自分とのかかわりを整理しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
2	教職及びその資格の特徴（定方）	事前学修：教職とその他の職業の類似点や違いについて調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。（2時間）	

授業計画

- ・教職に関する現状と課題を中心に授業を行う。
- ・授業の計画・内容は、オムニバス担当者の都合などに応じて一部変更する場合がある。
- ・事前学修については、授業のテーマ（内容）についての下調べをしておく。
- ・事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	教師像の類型：歴史の変遷（定方）	事前学修：明治以降の教育史の概要について調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。（2時間）	
4	反省的实践家としての教師（定方）	事前学修：ドナルド・ショーンの反省的实践家論について調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。（2時間）	
5	教師生活の一日とは（森江）	事前学修：小中高ごとの教師生活の一日を予想しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
6	教員の任用と服務とは（森江）	事前学修：「教員の不祥事」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
7	教師の役割と仕事（森江）	事前学修：学校で働く教員以外の職種についても調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
8	学校管理職と主任の役割とは（森江）	事前学修：学校管理職や主任の種類について調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
9	チーム学校、チーム担任制とは（森江）	事前学修：「チーム学校」「チーム担任制」の意味について調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
10	教員の働き方改革の今（森江）	事前学修：「学校の働き方改革」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
11	学校と地域との連携は（森江）	事前学修：自分が経験した学校が地域と連携した取組について整理しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
12	プロフェッショナルな教師とは（森江）	事前学修：「専門職としての教師」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
13	学び続ける教師とは（森江）	事前学修：「教師の力量とは何か」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
14	学校改革の課題と今後の展望（森江）	事前学修：「特色ある学校づくり」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	

授業計画

- ・教職に関する現状と課題を中心に授業を行う。
- ・授業の計画・内容は、オムニバス担当者の都合などに応じて一部変更する場合がある。
- ・事前学修については、授業のテーマ（内容）についての下調べをしておく。
- ・事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	「教職論」の総括と教職への意欲（森江）	事前学修：「教職論」で取り上げた資料を整理し、これまでの学修を振りかえっておく。（2時間） 事後学修：「教職論」の授業を通して関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。（2時間）	

基本情報

科目名	教育行政論
時間割コード	0234301001
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	森江 一史
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名	
森江 一史	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解し、説明することができる。</li> <li>2 教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方や重要性を理解し、説明することができる。</li> <li>3 地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解し、説明することができる。</li> <li>4 学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解し、説明することができる。</li> </ol>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の計画・内容は、受講者数及びニーズに応じて一部変更する場合がある。</li> <li>・授業の中でグループワークやグループディスカッションを取り入れるので、自分の学修経験を活かし積極的に参加すること。</li> <li>・可能な限り、スマートフォン、タブレット、ノートパソコン等の情報機器を持って参加すること。（所有していない等の場合は個別に対応するので申し出ること）</li> <li>・事前に参考資料に目を通し、事後には復習をしておくこと。（120分）</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回授業時に提出する小レポート（60%）、期末レポート（30%）、発表（10%）</li> <li>・フィードバックとして、小レポートに対する解説を次の授業回に行う。</li> </ul>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書は使用しない。</li> <li>・必要に応じて「（小・中・高）学習指導要領解説 総則編」を文部科学省HPから各自でダウンロードし、活用できるようにしておくこと。</li> </ul>
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考資料については、授業中に適宜紹介する。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教諭、指導主事、学校管理職、教育センター所長及び教育委員会事務局管理職として、学校現場及び教育行政での経験を活かして、学校や教育行政をめぐる諸問題について、具体的な実例を取り上げながら授業を展開していく。</li> </ul>
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容に応じて、実践事例の紹介を行い、調べ学習、グループワーク、ディスカッション、ケーススタディ、ロールプレイなどを取り入れる。</li> <li>・グループワーク等に、ICTを駆使した協働的な学びを通して資料作成およびプレゼンテーションを行う。</li> </ul>

授業計画

授業計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育を支える教育行政の在り方に関する現状と課題を中心に授業を行う。</li> <li>・授業の計画・内容は、学修者のニーズに応じて一部変更する場合がある。</li> <li>・事前学修については、授業のテーマ（内容）についての下調べをしておく。</li> <li>・事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</li> </ul>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：学校教育を支える教育行政とは何か	事前学修：「今日の学校教育の課題」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	

授業計画

- ・学校教育を支える教育行政の在り方に関する現状と課題を中心に授業を行う。
- ・授業の計画・内容は、学修者のニーズに応じて一部変更する場合がある。
- ・事前学修については、授業のテーマ（内容）についての下調べをしておく。
- ・事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	教育行政における国（文部科学省）の役割	事前学修：文部科学省のHPの構成と概要を調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
3	教育行政における地方（教育委員会）の役割	事前学修：熊本県教育委員会のHPの構成と概要を調べておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
4	教職員の不祥事と教育行政の改革	事前学修：教職員が不祥事を起こす理由について考えておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
5	学校教育と家庭教育との連携・協働	事前学修：「家庭の教育力の低下」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
6	事例検討：「“たい”が跳ねる学校づくり」とは	事前学修：小中高での「特色ある教育活動」を思い出して整理しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
7	学校教育と社会教育との連携・協働	事前学修：「地域の教育力」をテーマにしたディスカッションの準備をしておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
8	事例検討：「PTCA活動」とは	事前学修：「PTA活動の課題」について考えておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
9	「コミュニティースクール」の展開	事前学修：「コミュニティースクール」についてHP等で情報収集しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
10	「教育振興基本計画」とは	事前学修：「教育振興基本計画」についてHP等で情報収集しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
11	「総合教育会議」の役割とは	事前学修：「総合教育会議」についてHP等で情報収集しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
12	学校評価、教職員人事評価の実際	事前学修：「学校評価」についてHP等で情報収集しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
13	学校における安全管理「学校管理下」とは	事前学修：「学校管理下」についてHP等で情報収集しておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	
14	事例検討：学校における避難所運営	事前学修：「災害時の学校避難所の役割」について考えておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	



授業計画

- ・学校教育を支える教育行政の在り方に関する現状と課題を中心に授業を行う。
- ・授業の計画・内容は、学修者のニーズに応じて一部変更する場合がある。
- ・事前学修については、授業のテーマ（内容）についての下調べをしておく。
- ・事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	「教育行政論」から学んだこと	事前学修：これまで取り上げた資料等を整理し、学修を振り返っておく。（2時間） 事後学修：本時の学習内容で関心を持ったことをまとめる。（2時間）	

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	0232001401
ナンバリングコード	S 120033-L-01
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	講義過程でも適宜紹介の予定
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	講義の内容に応じて、グループワークやグループディスカッションを取り入れる。講義資料および必要資料に関しては、Campus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
6	ことばとコミュニケーションの発達	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	仲間関係とこころの理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	成人期から老年期の発達と課題	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

## 基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	0234301101
ナンバリングコード	S 130733-L-01
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

## 担当教員情報

教員名
水間 宗幸

## 詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理学的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を読んでおき、復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。 予習120分、復習120分を目安に行うこと。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	「すべての子どもに寄り添う特別支援教育」村上香奈・中村晋 編著、ミネルヴァ書房、2023
参考文献	「発達障害の子どもたち」(2007)、「発達障害のいま」(2011)ともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	2011年12月より2024年の間、非常勤心理士として精神科病院で発達障害を持つ子ども及びその家族への発達支援のカウンセリングを行った。この経験から特に子どもの発達や学習で生じる困難さの分析、対応、介入の結果や展望(予後)、外部機関との連携、家族が抱える問題など具体的な事例を通して、教育者として必要な思考力・実践力を身に付けられるよう授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	講義内容に応じてグループワーク、グループディスカッションを取り入れる。 必要な資料等はCampus Squareにアップロードする。

## 授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	特別支援教育の理念の理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
2	視覚障害・聴覚障害を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
3	知的障害を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	

## 授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	肢体不自由・病弱を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
5	自閉スペクトラム症を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
6	注意欠如・多動症を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	限局性学習症を知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	多文化を生きる子どもを知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	貧困を生きる子どもを知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	多様な性を生きる子どもを知る	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	教育課程の中の特別支援教育の理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	個別の支援を考える	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	特別支援教育に関わるアセスメント	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	特別な教育ニーズを持つ子ども、保護者への心理的支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	教育課程論
時間割コード	0234301201
ナンバリングコード	S 130733-L-01
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	定方 太希
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）
必選区分	選択

担当教員情報

教員名	
定方 太希	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、学校での教育活動を計画し実践し評価していくための基礎的な知識や技能について学ぶとともに、教育課程を編成し、カリキュラムマネジメントを行っていくための実践的な能力を培うことを目的とする。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とする。</p> <p>(1) 教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解し説明することができる。</p> <p>(2) 教育課程編成の基本原則、ならびに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し説明することができる。</p> <p>(3) 教育課程の基本原則や編成の方法を用いて、教育課程の編成を行うことができる。</p> <p>これらの目標へと到達することで、基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探究し問題を解決できる能力を身につけることを目指す。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業には参加的態度で臨むこと。参考文献を一読してから、授業に臨むことが望ましい。</li> <li>・ その他、授業外でも教育にかかわる情報をキャッチする鋭敏なアンテナを持ち合わせて欲しい。</li> <li>・ 調べ学習やディスカッションなどを通して、課題に取り組み、発表を求める場合があるため、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなどの情報機器をもって参加すること。</li> <li>・ 授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合がある。</li> <li>・ 定期試験でペーパーテストを実施する場合は原則、持込不可とする。</li> </ul>
評価方法	授業における小レポート（30%）、課題探究の成果（20%）、学期末定期試験（50%）の総合成績で評価する。
テキスト	特に指定しない。適宜資料を配布する。
参考文献	<p>文部科学省『小学校学習指導要領』東洋館、2018年。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領』東洋館、2018年。</p> <p>文部科学省『高等学校学習指導要領』東洋館、2019年。</p> <p>西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計』図書文化、2016年。</p> <p>吉田武男監修、根津朋実編『教育課程』ミネルヴァ書房、2019年。</p> <p>その他については適宜紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業内容に応じて、調べ学習、探究的な学び、ディスカッション、発表を取り入れる。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 教育課程とは何か	<p>事前学修：シラバスを熟読する。（2時間）</p> <p>事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	教育課程の編成原理と構成要素	事前学修：どのような観点から、教育課程を編成すれば良いかについて調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
3	教育課程の種類	事前学修：教育課程にはどのような種類があるのか、またそれらに応じて、実際の教育活動についてどのような違いが生じるのかについて調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
4	文化の再生産論・脱学校論	事前学修：これまでの学校生活の経験を振り返り、日常生活とは異なる学校ならではの文化について調べる。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
5	接続期カリキュラム	事前学修：学校種の間の特徴について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
6	現在のカリキュラムの問題	事前学修：不登校などの教育問題が注目されるようになった歴史について、カリキュラム論の観点から調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
7	戦前の教育課程の概要	事前学修：明治時代から昭和初期までの歴史的変遷について復習する。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
8	学習指導要領の特徴と変遷：経験主義と戦後新教育	事前学修：戦後新教育がどのような理念に基づいて成立したのかについて調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
9	学習指導要領の特徴と変遷：経験主義から系統主義へ	事前学修：「ゆとり教育」に関する学力論争について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
10	学習指導要領の特徴と変遷：「ゆとり教育」	事前学修：「ゆとり教育」に関する学力論争について調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	
11	学習指導要領の特徴と変遷：新学力観と学習態度	事前学修：これまでの学校生活の経験を振り返り、新学力観の観点から、どのような評価が行われていたのかを調べておく。（2時間） 事後学修：授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
12	学習指導要領の特徴と変遷 : 「脱ゆとり」と主体的・対話的で深い学び	事前学修: 「脱ゆとり教育」へと移行した目的や社会背景について調べておく。(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	
13	課題探究 : 隠れたカリキュラムから生じる様々な問題	事前学修: 経験カリキュラムや隠れたカリキュラムの特徴などについて調べておく。(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	
14	課題探究 : 個に応じた指導のあり方とカリキュラムの関係	事前学修: 個に応じた指導や学びのあり方について調べておく。(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	
15	課題探究 : 現在の学習指導要領について	事前学修: 各教科、特別の教科、教科外活動に関して現行の学習指導要領やその解説を読み込んでおく。(2時間)(2時間) 事後学修: 授業内容の論点を整理すると共に、関心を持ったこと・疑問点に関して調べ、探究する。(2時間)	